

日本最大級！若手クリエイターによる空間映像のコンテスト
東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol.8

アニメ × 音楽 × プロジェクトマッピングの祭典
TOKYO FUTURE NIGHT

約8,500名が来場！
併催された2つのイベントの様をお届けします。

東京国際プロジェクトマッピングアワード実行委員会（運営：(株)ピクスおよび(株)IMAGICA EEX）は、若手クリエイターを対象とした映像制作の登竜門「東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol.8」と新しい夜の光の祭典「TOKYO FUTURE NIGHT」を11月11日(土)に東京ビッグサイト会議棟前広場にて開催。過去最多となる8,526人が来場しました。（※1、2）

舞台は日本最大級のスクリーン！
若手クリエイターによるプロジェクトマッピングのコンテスト

審査員

喜田夏記	ディレクター、アートディレクター、クリエイティブディレクター	MC	ハリー杉山
Nate	グラフィックアーティスト、3Dm、CG、ディレクター	司会	
橋爪勇介	ウェブデザイナー、編集者、グラフィックデザイナー	審査員	東京国際プロジェクトマッピングアワード実行委員会
別所慎	プロデューサー	審査員	一般社団法人東京国際映像祭実行委員会
森内大輔	NHK デザインセンター長	審査員	株式会社IMAGICA GROUP
		審査員	株式会社ピクス 株式会社IMAGICA EEX

今年のテーマ
OPEN

プロジェクトマッピングアワード
<https://pmaward.jp>

2023 11/11 sat

東京ビッグサイト 会議棟前広場 16:30 開場

17:00-19:30 ... 東京国際プロジェクトマッピングアワード Vol.8
19:30-21:00 ... TOKYO FUTURE NIGHT ※予定
東京臨海ホールディングスグループ おもてなしブースでホットドリンクを無料提供!

入場無料

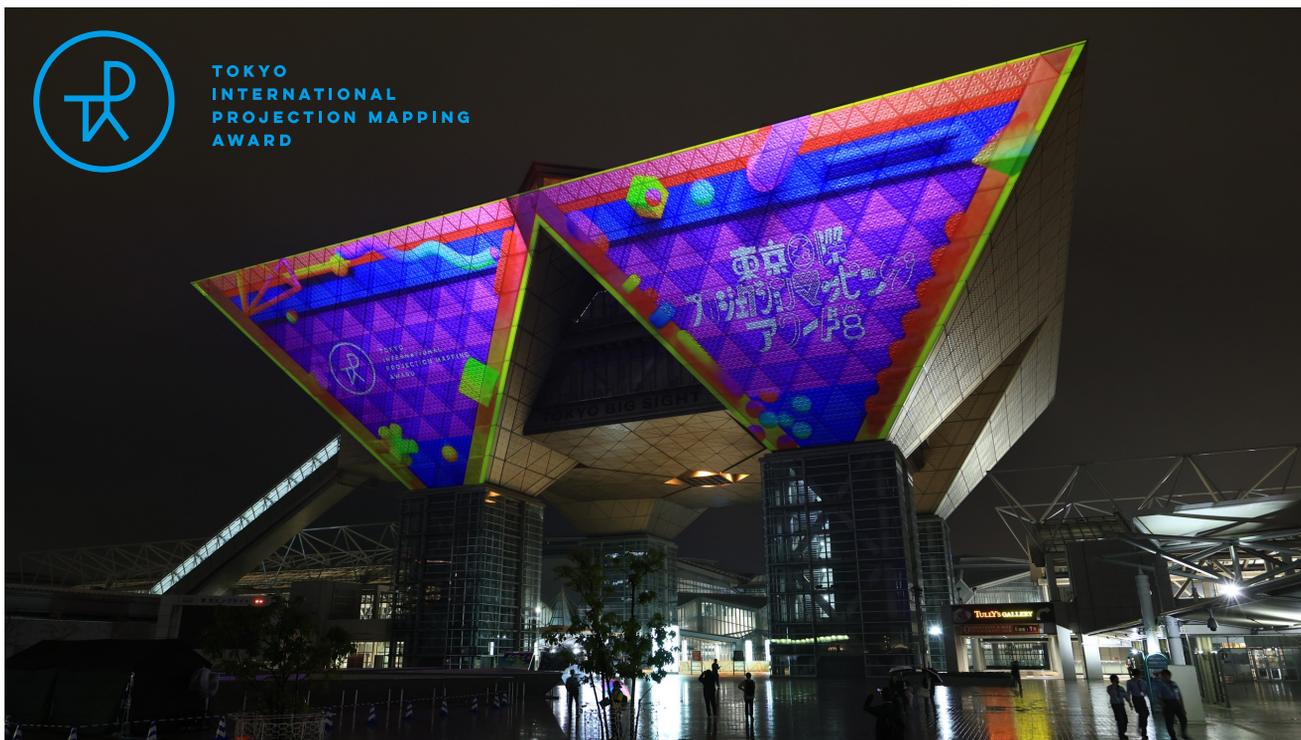
東京から世界へ発信！新しい夜の光のフェスティバル

[アニメ×音楽×プロジェクトマッピング] 光と音の祭典

TOKYO FUTURE NIGHT

<https://pmaward.jp/kokufuturenight/>

※1 東京国際プロジェクトマッピングアワード開催史上最多、※2 両イベント総合の来場者数



TOKYO
INTERNATIONAL
PROJECTION MAPPING
AWARD

◆プロフェッショナルの手によって行われた審査会。



Vol.7まではエントリー対象者を学生に限定していましたが、今大会ではテーマの「OPEN」にちなんで、30歳以下のクリエイターを対象を広げて開催。昨年の出場チーム数の2倍以上となる31チームが上映会に進出しました。

各賞を決める5名の審査員は、喜田夏記、Nate、橋爪勇介、別所梢、森内大輔と各業界の第一線で活躍するプロフェッショナルが担当。

各参加者の思いが込められた作品を視聴し、熱い審査により各賞が決定しました。

◆いよいよ上映会！最優秀賞は誰の手に…！？

日暮れとともに、MC・ハリー杉山の開会宣言により作品上映会がスタート！



約4ヶ月をかけて制作された作品が約30メートル、幅約94メートルの日本最大級のスクリーンに映し出されると、場内は興奮に包まれました。



TOKYO
INTERNATIONAL
PROJECTION MAPPING
AWARD

◆最優秀賞は、たった一人で4ヶ月間の制作に挑んだ、TORCH (デジタルハリウッド大学)！



全31チームの上映後、各賞が発表されました。最優秀賞、優秀賞に加え、通常1作品のみ表彰予定だった審査員特別賞が2作品選出される結果となり、大会のレベルの高さが伺えました。受賞作品の発表が終了後、審査員代表として森内大輔より、全参加チームへ称賛の言葉が贈られ、感動と熱気のなかで今年の東京国際プロジェクションマッピングアワードは幕を下ろしました。

各受賞作品は下記の通りです。

▼最優秀賞▼

学校名：デジタルハリウッド大学
チーム名：TORCH
作品名：NEXUS



・審査員 橋爪勇介 (ウェブ版「美術手帖」編集長) よりコメント
満場一致の最優秀賞でした。「人工知能」というタイムリーなトピックであり、将来的に起こるであろう「シンギュラリティ」(技術的特異点)をも想起させます。また映像全体が高い技術力でまとめており、鑑賞後の満足度も高かったです。

▼優秀賞 2チーム▼

①学校名：東京コミュニケーションアート専門学校
チーム名：獄卒
作品名：黄泉



・審査員 Nate (映像ディレクター、モーションデザイナー) よりコメント
テーマのOPENにちなんで、未知の世界へ勇気を持って、扉を気持ち良くドンドンと開けて飛び込んでいく様子。そして様々なモチーフがありつつも、しっかりと統一感があってすごく見ていてテーマパークのアトラクションのような楽しい作品でした。

②学校名：日本工学院八王子専門学校
チーム名：チームくいしんぼう
作品名：Dream factory



・審査員 別所梢 (プロデューサー) よりコメント
ルック、アニメーションともに細部までデザイン設計が行き届いている印象でした。賑やかな展開ながらも華美過剰すぎない抑制のバランスも評価に繋がっています。

▼審査員特別賞 2チーム▼

①チーム名：Marchisland
作品名：Appetite



・審査員 森内大輔 (NHKデザインセンター長) よりコメント
世界中のどこにでもいそうな親しみのあるオジサン。
物欲しそうに口をパクパクしながら開放的になっていく姿に同世代の一人として惹きつけられました。
型にはまらない自由な発想に心からの敬意を表します。

②学校名：東京コミュニケーションアート専門学校
チーム名：ただの田中。
作品名：bloom



・審査員 喜田夏記 (ディレクター、アートディレクター、クリエイティブディレクター) よりコメント
浮遊感ある不思議な世界観のイントロから、もの静かな展開ながらも、一気に世界に引き込まれました。
視点が次々と変わり、要素も展開も多いのに、一貫してまとまりのある絵作りは、彩度を抑えた繊細な色彩センスのなせる技。ラストの女の子の神秘的な面持ちや大胆な構図など、随所に感じるセンスの良さに脱帽でした。

▼東京ビッグサイト賞 7チーム▼

- ①MISO 「BRIDE is the BEST?」
- ②佐賀大学/猫ぶろれす 「Sounds of OPEN」
- ③大妻女子大学/三色団子 「Imagine」
- ④日本電子専門学校,慶應義塾大学/組織1 「めくり、めぐる。」
- ⑤専門学校日本デザイナー学院/Bremen 「POP OUT YODEL」
- ⑥大阪芸術大学/しゃもじ鮭もじもじ 「お母さんは魔法使い」
- ⑦KAMIN 「Threshold」

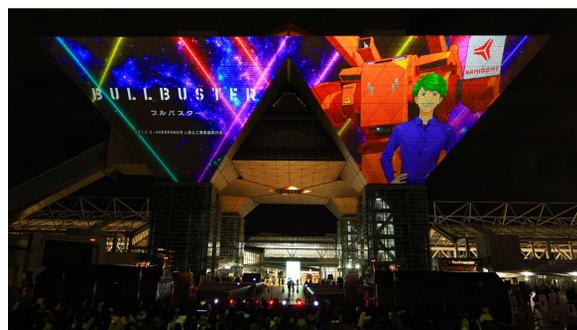


◆熱気のバトンはTOKYO FUTURE NIGHTへ！

興奮冷めやらぬ中、併催となるアニメコンテンツとコラボレーションした夜の祭典「TOKYO FUTURE NIGHT」がスタート！

まずは、アニメ「ブルバスター」よりNORISTRYが登場！

大迫力のプロジェクションマッピングを背景にオープニングテーマの「トライ・ライ・ライ」を披露しました。ライブ終了後は原作・中尾浩之も登壇。現在放送中の「ブルバスター」の魅力をもとに熱く語りました。



続いて、ロングラン大ヒットを記録した映画「グリッドマン ユニバース」のプロジェクションマッピングコンテンツが上映。



監督の雨宮哲も登壇し、感想を聞かれると「寒いですね！」と答え、笑いが起こる場面も。今後の作品の展開について聞かれると「続きも先もぜひ作りたい、オファーお待ちしております」と意欲を見せました。

そして、現在天竺編が放送中の「東京リベンジャーズ」のステージがスタート。



花垣武道役・新祐樹、佐野万次郎役・林勇、龍宮寺堅役・福西勝也が登壇し、作品ファンなら誰もがグッと来る作中の名台詞をプロジェクションマッピングとともに披露しました。

イベントのラストの飾るのはアニメ「オッドタクシー」で二階堂ルイを演じる三森すずこによる、アニメエンディングテーマ「シュガーレス・キッス」ライブ！

主人公・小戸川とともに明るく楽しいライブを披露し、会場を盛り上げました。



SDGsへの取り組み

本イベントは、実質100%再生可能エネルギーで運営しております。様々な地球環境の変化が心配されるなか、電気を使うメディアアート、プロジェクトンマッピングこそクリーンなエネルギーで実施されるべきだと考えました。プロジェクトンマッピングを通じてSDGsを達成できるイベントを目指します。

今後、各受賞作品は東京ビッグサイトにて定期上映が予定されています。

また、本アワードにつきましては、今後も継続して実施を予定しており、詳しい情報は公式サイトなどで発表していきます。

若きクリエイター達のさらなる意欲と技術力の向上に向けた本アワードの動きに是非ご注目下さい！

東京国際プロジェクトンマッピングアワードは、映像を軸に、次世代を担うクリエイターの育成を支援します。

イベント概要

【日時】

2023年11月11日 (土) 16:30 開場 / 17:00 開演

(17:00~19:30 東京国際プロジェクトンマッピングアワード / 19:30~21:00 TOKYO FUTURE NIGHT)

【会場】

東京ビッグサイト 会議棟前広場 (〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)

※諸状況を鑑みまして変更・中止の可能性がございます。

【参加費】

無料

■東京国際プロジェクトンマッピングアワード Vol.8

【概要】

学生または30歳以下の若手映像クリエイターを対象にしたプロジェクトンマッピングコンテスト

【テーマ】

OPEN

【MC】

ハリー杉山

【審査員】

喜田夏記 (P.I.C.S. management、Legolas inc.)、Nate (nim)、橋爪勇介 (カルチュア・コンビニエンス・クラブ)、別所梢 (mimoid)、森内大輔 (NHK デザインセンター長)

【各賞 / 副賞】

・最優秀賞 (賞金30万円、トロフィー、賞状、副賞)

デジタルハリウッド大学、チーム名：TORCH、作品名：NEXUS

・優秀賞 (賞金15万円、トロフィー、賞状)

東京コミュニケーションアート専門学校、チーム名：獄卒、作品名：黄泉

日本工学院八王子専門学校、チーム名：チームくいしんぼう、作品名：Dream factory

・審査員特別賞 (賞金10万円、トロフィー、賞状)

チーム名：Marchisland、作品名：Appetite

東京コミュニケーションアート専門学校、チーム名：ただの田中。、作品名：bloom

・東京ビッグサイト賞 (定期上映)

チーム名：MISO、作品名：BRIDE is the BEST?

佐賀大学、チーム名：猫ぶるれず、作品名：Sounds of OPEN

大妻女子大学、チーム名：三色団子、作品名：Imagine

日本電子専門学校、慶應義塾大学、チーム名：組織1、作品名：めくり、めぐる。

専門学校日本デザイナー学院、チーム名：Bremen、作品名：POP OUT YODEL

大阪芸術大学、チーム名：しゃもじ鮭もじもじ、作品名：お母さんは魔法使い

チーム名：KAMIN、作品名：Threshold

【共催】

一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会

【特別協賛】

株式会社東京ビッグサイト、株式会社IMAGICA GROUP

【後援】

経済産業省、東京都港湾局、江東区、国立研究開発法人科学技術振興機構 日本科学未来館、公益財団法人東京観光財団 (TCVB)、CG-ARTS (公益財団法人画像情報教育振興協会)、特定非営利活動法人映像産業振興機構 (VIPO)、一般財団法人デジタルコンテンツ協会 (DCAJ)

【メディアパートナー】

CGWORLD、映像新聞、月刊サイン&ディスプレイ、COMMERCIAL PHOTO、東京お台場.net、テレ朝POST、Vook

【特別協力】

りんかい線、ゆりかもめ

【協力】

株式会社ワコム、株式会社フジテレビジョン、ダイバーシティ東京 プラザ、デックス東京ビーチ、東京ベイ有明ワシントンホテル、東京ベイコート倶楽部ホテル&スパリゾート、ホテルトラスティ東京ベイサイド、東京ベイ・クルージングレストラン シンフォニー、Kawasaki Robostage、有明ガーデン、アクアシティお台場、相鉄グランドフレッサ 東京ベイ有明、グランドニッコー東京 台場、株式会社ユニバーサルエンターテインメント

【出場チーム】 ※学校名 / チーム名 「作品名」 ※上映順

MISO 「BRIDE is the BEST?」

仙台デザイン&テクノロジー専門学校 / 16/25 「IS that OPEN OK?」

武蔵野美術大学 / シン龍 「いざ、開国!!新時代を切り開け!!!」

東京造形大学 / かめかめ 「新訳竜宮城」

佐賀大学 / 猫ぶるれす 「Sounds of OPEN」

東京造形大学 / ひきこもり 「Bloom」

専門学校日本デザイナー学院 / カリンの豆腐 「OPEN THE GATE ~THE BONDS OF ROBOTICS~」

専門学校日本デザイナー学院 / Shikanomori 「緋読」

東京コミュニケーションアート専門学校 / 寝台特急「Everyone」 「出発進行！」

IMKK / 自己と他者

大妻女子大学 / 三色団子 「Imagine」

日本電子専門学校、慶應義塾大学 / 組織1 「めぐり、めぐる。」

東京藝術大学 / ManyMany.bot 「デジタル擬態」

仙台デザイン&テクノロジー専門学校 / Free 「I can fly !!!!!」

専門学校日本デザイナー学院 / Bremen 「POP OUT YODEL」

仙台デザイン&テクノロジー専門学校 / おむすびころりん 「鎖のない物語」

■ TOKYO FUTURE NIGHT**【概要】**

アニメ × 音楽 × プロジェクションマッピングの祭典。話題のアニメを日本最大級のスクリーン&音楽で楽しむ新しいカタチのライブイベント

【主催】

東京国際プロジェクションマッピングアワード実行委員会 ※TOKYO FUTURE NIGHTは、観光庁 観光再始動事業採択事業です

【企画・運営】

株式会社ピクス、株式会社IMAIGICA EEX

公式サイト / SNS

■東京国際プロジェクションマッピングアワード Vol.8

ウェブサイト：<https://pmaward.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/pmaward.jp/>

X (旧Twitter)：https://twitter.com/pmaward_jp/

公式note：<https://note.com/pmaward/>

■TOKYO FUTURE NIGHT

ウェブサイト：<https://pmaward.jp/tokyofuturenight/>

X (旧Twitter)：https://twitter.com/info_TFN

記事掲載素材につきまして

お手数をお掛け致しますが、当リリースに関する画像は下記URLよりダウンロードの上ご使用ください。

<https://picstokyo.box.com/s/qzifn0ksytfhs0iq44rgay2w5w0cb7h>

記事掲載時は下記マルシー表記の併記をお願いいたします。

©東京国際プロジェクションマッピングアワード実行委員会

© P.I.C.S.・KADOKAWA刊/波止工業動画制作部

©円谷プロ © 2023 TRIGGER・雨宮哲/「劇場版グリッドマンユニバース」製作委員会

©和久井健・講談社/アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員

© P.I.C.S. / 小戸川交通パートナーズ

お問い合わせ

当リリースに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

アドレス：info@pmaward.jp

担当：橘川 (株式会社ピクス) / 濱野 (株式会社IMAGICA EEX)